2022年度日本建築学会中国支部奨励研究助成金申込書

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 研究題目 |  | 助成種目（○で囲む）＊注2 | **Ⅰ ・ Ⅱ** |
| 応募部門（○で囲む） | 1.材料工学　　2.構造　　　3.防災　　4.環境工学　　5.建築計画　　6.農村計画7.都市計画　　8.建築経済　9.建築歴史・意匠　　10.海洋　　11.情報システム技術 |
| 申込者代表 | ふりがな氏　名（会員番号：　　　　　　　　　）生年月日　　　　年　　　月　　　日 | 連絡先（□自宅　□所属先）住所：〒所属先：TEL（携帯TEL）：e-mail： |
| 所属先：現在の役職または学年：（学年記載例：4年、M1、D2など） | 最終学歴：（校名・学部名・学科名・課程名）卒業（修了）年月：　　　年　　月 |
| 共　同研究者 | 氏名：所属先・役職or学年： | 氏名：所属先・役職or学年： |
| 氏名：所属先・役職or学年： | 氏名：所属先・役職or学年： |
| ▼研究目的 |
|  |
| ▼研究計画（研究内容・方法、スケジュール及び連名の場合の役割分担などを具体的に記す。既に着手している場合は、経過状況についても記す。） |
|  |

|  |
| --- |
| ▼研究計画と申請予算との関係（具体的に記す。） |
|  |
| ▼申込者の過去の本助成交付歴、他の制度による助成金及び決定状況 |
|  |
| ▼申請予算内容注3）と希望額（具体的に記す。） |
| 項　　目 | 希望額（円） |
|  |  |
| 計 | 円 |

注1：・各欄とも書き切れない場合は、A4判用紙1枚を追加して記載して下さい。

・申請研究題目に関連した既発表論文等があれば、その写しを添付して下さい。

注2：助成内容について

助成種目Ⅰ) 助成金額20万円以内

→中国支部の会員である大学・短期大学・高等専門学校等の教職員（ただし教授・准教授は除く）、

官公庁・企業の職員等、または、博士課程後期学生。

助成種目Ⅱ）助成金額10万円以内

→中国支部の会員である博士課程前期学生、学部学生、専攻科生、高専生、研究生等。

注3：予算の例

調査旅費（交通費、宿泊費）、臨時雇用賃金（調査協力者、データ処理作業補助者）、消耗品（文具、実験用資材）、

印刷費など。